

令和3年度

三沢市教育委員会
会 議 録

6 月 定 例 会

三沢市教育委員会 令和3年度 6月定例会

1 日 時 令和3年6月28日(月) 13時59分 開会
15時23分 閉会

2 場 所 三沢市役所 別館4階 第1研修室

3 出席委員

教 育 長	富 田 敦
委 員	立 花 肇
委 員	黒 沢 のぞみ
委 員	本 江 宏
委 員	松 森 まゆみ

4 出席職員

教育部長	立 崎 裕 輔
教育総務課 課長	岡 部 章 典
教育総務課 課長補佐兼施設係長	池 田 修
学務課 課長	村 上 輝 仁
学務課 課長補佐兼学務係長	浪 岡 さゆり
学校教育課 課長	太 田 浩 之
学校教育課 課長補佐	江 渡 勇
生涯学習課 課長	山 本 京 子
生涯学習課 課長補佐兼生涯学習係長	柿 崎 竜 平
学校給食センター 所長	海老名 達 郎
学校給食センター 所長補佐兼施設係長	宮 古 順 一
教育総務課 副参事兼課長補佐(書記)	今 村 多美代
教育総務課 教育総務係長	鳴 海 拓

5 傍聴者 2名

6 議事日程 別紙のとおり

【別紙】

三沢市教育委員会 令和3年度6月定例会 議事日程

開会

第1 会議録署名委員の指名

第2 会期の決定

第3 前回会議録の承認

第4 議事案件

議案第1号 令和3年度三沢市奨学資金貸付申請者の選考について

議案第2号 三沢市学校給食センター運営審議会委員の選任について

第5 報告案件

報告第3号 令和3年三沢市議会第2回定例会について

報告第4号 総務文教常任委員会所管事務調査について

報告第5号 三沢市奨学資金貸付条例の一部改正について

報告第6号 令和4年度三沢市重点事業要望について（教育関係）

第6 その他

閉会

開 会 13時59分

○開会

■富田教育長

ただ今から、令和3年度6月定例教育委員会を開会いたします。

それでは、お手元に配付してある議事日程により、会議を進めます。

○日程第1 会議録署名委員の指名

■富田教育長

日程第1 会議録署名委員の指名。

会議録署名委員の指名を行います。

会議録署名委員は、本江委員と松森委員を指名いたします。

よろしく願いいたします。

○日程第2 会期の決定

■富田教育長

日程第2 会期の決定。

会期についてお諮りいたします。

会期は、本日28日の1日でよろしいでしょうか。

(「異議なし。」と声あり)

それでは、本日の1日といたします。

○日程第3 前回会議録の承認

■富田教育長

日程第3 前回会議録の承認。

前回、会議録の承認について、お諮りいたします。

前回の会議録は、お手元に配付しております

が、会議録のとおり承認としてよろしいでしょうか。

(「異議なし。」と声あり)

ご異議ございませんので、承認といたします。

○日程第4 議事案件

■富田教育長

日程第4 議事案件。

続いて、議事案件に移ります。

議案第1号 令和3年度三沢市奨学資金貸付申請者の選考についての議案は、個人情報が含まれる案件でありますので、先例により、非公開として、別室審議といたしたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし。」と声あり)

ご異議ございませんので、非公開として別室審議といたします。

次に、議案第2号 三沢市学校給食センター運営審議会委員の選任についてを議題といたします。

事務局より、説明をお願いします。

■学校給食センター所長

議案第2号 三沢市学校給食センター運営審議会委員の選任について、ご説明いたします。

当審議会委員は、令和3年3月31日をもって、任期満了となりましたことから、新たに委員を選任するものです。選任区分は、三沢市学校給食センター条例及び施行規則により、三沢市立小中学校校長から3名、三沢市立小中学校の児童生徒の保護者から2名、医療保健関係者から2名、学識経験者から3名となっております。

それでは最初に、小中学校校長ですが、桐原賢哉 三沢小学校校長、奈良岡臣哉 第二中学校校長、木村友昭 第三中学校校長の3名。

次に、小中学校保護者ですが、鈴木志帆美市連合PTA母親委員会副委員長、山内里美市連合PTA母親委員会副委員長の2名。

次に、医療保健関係者ですが、菊池弘美 医療法人みさわクリニック院長、竹林紅 上北地域県民局地域健康福祉部保健総室(上十三保健所)室長の2名。

次に、学識経験者ですが、野川剛 三沢市商工会副会長、種市誠 おいらせ農業協同組合参事、山本優 三沢市漁業協同組合参事の3名で、合計10名です。

よろしくお祈りいたします。

■富田教育長

ただ今の説明に対し、委員の皆様から、ご質問等がございますか。

(「なし。」と声あり)

それでは、お諮りいたします。

議案第2号は、原案のとおり、同意することにご異議ございませんか。

(「異議なし。」と声あり)

ご異議ございませんので、議案第2号 三沢市学校給食センター運営審議会委員の選任については、同意することに決しました。

○日程第5 報告案件

■富田教育長

日程第5 報告案件。

続いて、報告案件に移ります。

報告第3号 令和3年三沢市議会第2回定例会についてを議題といたします。

事務局より、説明をお願いします。

■教育部長

私からは、今月開催されました市議会第2回定例会の教育に係る一般質問と答弁内容についてご報告いたします。今回は1名の議員さん

から質問がありましたので、その概要をご報告いたします。

春日洋子議員の一般質問で、「コロナ禍における女性の負担軽減と適切な情報提供について」と題した、学校教育における適切な情報提供や安心できる環境づくりの取り組みについての質問があり、教育長答弁として、「当市では特別に指導計画等を作成し、『性に関する指導』として小学校1年生から中学校3年生までの9年間のスパンで系統的・教科横断的に指導を行っており、発達段階に応じた学習のほか、日常の学校生活においても、性に関する悩みなどの困り感を持っている児童生徒には、学級担任や養護教諭・心の教室相談員等が家庭と連携しながらきめ細かに対応している。今般の児童生徒への生理用品提供時においても、安心感をさらに高める養護教諭等の一言を添えるなど、児童生徒に寄り添いながら、相互に気遣い理解し合う心を育てる学校教育の推進、強化に努めて参りたい」と答弁しております。

なお、この件に係る春日議員の再質問として、「女子トイレ個室にメッセージを添えて生理用品を備え付ける考えがないか」との質問に対しては、教育長答弁として「15年ほど前にトイレ内に設置した経緯があるものの、諸事情により保健室で保管・管理して提供するようになったが、今般福祉部の取り組みと連動して、対象学年女子児童生徒・保護者あてお知らせに生理用品無料配布カードを貼りつけ配布したほか、女子トイレにもカードを備え付けており、今後さらなる改善の余地があれば養護教諭・保健教諭・学校関係者と協議検討して参りたい。」と答弁しております。

以上でございます。

■富田教育長

ただ今の報告に対し、委員の皆様から、ご質問等がございますか。

(「なし。」と声あり)

ないようですので、報告第3号 令和3年三沢市議会第2回定例会についての報告は、終わりといたします。

次に、報告第4号 総務文教常任委員会所管事務調査についてを議題といたします。

事務局より、説明をお願いします。

■教育部長

去る、6月3日、市議会総務文教常任委員会の所管事務調査がございました。案件は、「三沢市教育振興基本計画」に係る令和2年度の取り組みと進捗状況として、(1) 確かな学力の育成のための教材整備について、(2) 英語によるコミュニケーション能力の育成について、(3) 「習慣は第二の天性」推進事業について、(4) 学校・家庭・地域コミュニティの連携・強化について、以上の4件についてでありましたが、会議に先立ち当日の午前中には、市立第一中学校での市内各小中学校教員を対象に開催された、三沢市小中学校ICT環境整備モデル校事業の公開授業研修会に、委員である議員のほか議長・市長も出向き、実際にタブレット端末を活用した理科の授業を視察していただきました。

その後、午後からは資料をもとに教育総務課長及び学校教育課長並びに生涯学習課長から、それぞれ担当部門の取り組みを説明しましたが、冒頭、私からは、令和2年度から令和6年度までの5箇年を計画期間とする「三沢市教育振興基本計画」の体系概要について、説明いたしました。資料の1ページにありますとおり、三沢市教育振興基本計画につきましては、人との関わりを基盤に「MISAWAの今と未来をつくる人づくり」をスローガンに掲げ、4つの基本方針、10の政策目標、22の重点施策をもって構成していることを説明し、今回は10の政策目標のうち説明順に、政策目標10 安全・安心で、質の高い教育環境の充実 そのた

めの重点施策(21) 確かな学力の育成のための教材整備として、この日の午前中に授業を視察いただいた、ICT環境整備となるタブレット端末配備と活用展開、次に、政策目標2 グローバルなコミュニケーション能力を育む英語教育の充実 そのための重点施策(4) 英語によるコミュニケーション能力の育成、そして次に、政策目標9 健康で、依存に負けない習慣づくり そのための重点施策(17) 「習慣は第二の天性」推進事業、最後に、政策目標5 学校・家庭・地域の連携と協働の充実 そのための重点施策(10) 学校・家庭・地域コミュニティの連携・強化としてコミュニティ・スクール展開。

以上について、資料に基づき担当課長からそれぞれ説明をいたしました。その概要につきましては、各課長からご報告させていただきますので、よろしく願いいたします。

私からは以上でございます。

■教育総務課長

私からは、資料の2ページ、ICT・タブレット整備状況について、ご報告させていただきます。

ICT環境整備の推進につきましては、今年2月の定例教育委員会でも、中間報告をさせていただきましたが、昨年度、市内小中学校全12校に対し、校内無線LANの整備、全教職員及び全児童への学習用タブレット 計3,345台、大型提示装置については、既に設置済みであった57台を除いた、58台の整備を完了しております。

これにより、タブレット等のハード面については100%の整備率となっております。ICT支援員につきましては、昨年度会計年度任用職員として募集をかけたところでありましたが、1名以外に申し込みが無く、結果として、33%の整備率となったところでもあります。

以上が、ICT・タブレット整備状況につい

での報告内容でございます。

■学校教育課長

続きまして、学校教育課から、説明させていただきます。

2ページの(2) iPadに関連した教材の利用動向についてをご覧ください。現在、市内の全小中学校で、iPad端末を活用して授業をしています。ICTについては、「環境整備の段階」から「活用促進の段階」に移行したと捉えています。

続きまして、(3)教職員研修についてです。今年の3月24日に第一中学校で、①のiPad導入時オリエンテーションを実施しました。このオリエンテーションでは、充電保管庫の使い方、保管台帳の整備、IDの扱い等を研修しました。3ページをご覧ください。6月3日には、第一中学校で②のICT環境整備モデル校事業公開授業研修会を実施しました。今後の研修予定として、上久保小学校で2回目のICT環境整備モデル校公開授業研修会、学期に1度開催する三沢市小・中学校iPad活用推進委員会、夏休み中にタブレット型PC活用研修会等を開催し、徐々に先生方の能力を高めて行く予定です。

続きまして、(5)活用の実際についてをご覧ください。iPadの活用については、授業での初歩的な活用ができるようになっていきました。②のロイロノートについては、2学期開始を目途に、教職員が基本的な操作方法を習得できるように研修会を開催し、2学期からは、得意な先生だけではなく、授業で活用できるようにしていきたいと考えています。ICT機器については、先生方が、技術を習得し、児童生徒の資質・能力を伸ばそうと授業で活用しており、今後は活用してみても課題を明らかにし、次のステップへ移行していく状況です。

続きまして、4ページをご覧ください。2英語によるコミュニケーション能力の育成に

ついて」説明いたします。

「グローバルなコミュニケーション能力を育む英語教育の充実」を基本方針に、三沢市では文部科学大臣許可の「教育課程特例校」として、市内小学校において、1年生から「英語活動科」を実施し、ネイティブな英語に触れながら「聞く」「話す」に加え、「読む」「書く」も含めた初歩的な英語の運用能力を育成しています。

さらに、「英語教育Second Stage」として、グローバル化に対応した国際感覚やコミュニケーション能力を養うため、小学校における国際交流などを通じた異文化理解の促進、中学校における英語教育の高度化など、英語教育全体の根本的充実を図っています。具体的な取組内容は、①から⑥に書きましたが、定例教育委員会でその都度、紹介してきた内容となります。

5ページをご覧ください。これらの取り組みの結果ですが、(3)の市内中学校3年生英語検定3級以上取得率のグラフのような結果が出ています。平成28年度までは私費での受験でしたが、様々な対策をとるとともに、平成29年度から受験料の助成を行ったところ、28.2%から40.6%と12ポイントほど伸びています。全国や県が20%台であるのに対し、三沢市は40%台となり、大きな成果を見せています。

続きまして、6ページをご覧ください。3「習慣は第二の天性」推進事業について説明いたします。

(2)の令和2年度の眠育に関わる事業の実施状況をご覧ください。12月2日に岡三沢小学校で、①の三沢市健康教育研究発表大会を実施しました。県立浪岡養護学校養護教諭 内山陽子氏を講師として「眠育でいきいき岡小っ子〜ぐっすり眠って心も体も元気になろう〜」という演題で講義をいただきました。また、岡三沢小学校の「眠育」の実践の発表がありました。

10月15日には、三沢市公会堂で、②の生

き活き健康講話を実施しました。公立七戸病院長 小野正人氏を講師として「子どもにとっての眠ること」という演題で講義をいただきました。市内小学校6年生、314名を対象としましたが、夢や希望を叶えるための生活習慣づくりにおける睡眠の大切さを学ぶ機会となりました。

7ページをご覧ください。眠育については、昨年度、市内の全ての小中学校で取り組むことができました。昨年度の実践により取り組みの方向性が見えてきたので、今年度は、(5)の三沢市の眠育の流れに書きましたように、「すいみんログを活用した実態把握」をし、それを基に「睡眠や生活習慣に関わる学校課題の焦点化」を図り、「課題解決に向けた取組」を各学校で実践し、「振り返り・評価」を行い次年度につなげていく予定です。

学校教育課からの説明は、以上でございます。

■生涯学習課長

続きまして、生涯学習課からは、「三沢版コミュニティ・スクール」の状況と今後について説明したことをご報告いたします。

昨年度の「三沢版コミュニティ・スクール」の活動実績は、対前年度と比較して、活動日数・参加者とも減少しておりますが、コロナ禍において、活動開始の遅れや参加人数の制限等を考慮し、事業の定着と、理解を得られている旨を説明いたしました。

今後については、1つ目に、令和4年度から市内全小中学校に学校運営協議会を設置し、この学校運営協議会を設置した学校が、コミュニティ・スクールとなること。2つ目に、三沢版コミュニティ・スクールは、地域学校協働活動事業と呼称が変わることを説明いたしました。

以上でございます。

■富田教育長

ただ今の報告に対し、委員の皆様から、ご質

問等がございますか。

■立花委員

I C T支援員は、4校に一人が目標となっております、現在は12校に一人しかいないということですが、今後の支援員の予定についてどのように考えていますか。

■教育総務課長

I C T支援員の今後の予定ということですが、先ほど報告させていただいたのは、令和2年度の実績であり、令和3年度は、民間業者へ委託することとしておりまして、業者も今決まったところがございます。2学期からは、各学校へ1週間に最低1回は巡回する体制づくりを考えています。

■立花委員

学校訪問で、タブレットを利用した授業を参観したところ、机の狭さを感じました。まだ落す子供はいないと思いますが、何か対策を立てる必要があるのではないかと感じました。

■教育総務課長

机の件ですが、我々も机が狭いという現状は承知しております。既存の机にはめるアタッチメント式の見本を取り寄せております。また、机も古くなってきておりますので、大きいサイズに取り替える事も考えていますが、机を大きくすることによって教室が狭くなるという事にもなりますので、総合的に勘案して検討しております。いずれにいたしましても、委員の皆様や校長会等と情報を共有しながら検討を進めて参りたいと思います。

■富田教育長

子供たちの持ち物も多くなり、体も大きくなってきていますが、机のサイズは昭和のままであり、変化の部分に対応できているのかなど、

検討していきたいと思いをします。

その他、ご質問等ございませんか。

（「なし。」と声あり）

ないようですので、報告第4号 総務文教常任委員会所管事務調査についての報告は、終わりといたします。

次に、報告第5号 三沢市奨学資金貸付条例の一部改正についてを議題といたします。

事務局より、説明をお願いします。

■教育総務課長

それでは、報告第5号 三沢市奨学資金貸付条例の一部改正について、ご説明いたします。

この条例改正につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、修学が困難となった奨学生に係る貸付額の増額期間を延長するために制定したものであります。期間については、令和4年3月分までとするもので、今月21日をもって公布及び公表されております。

以上でございます。

■富田教育長

ただ今の報告に対し、委員の皆様から、ご質問等がございますか。

（「なし。」と声あり）

ないようですので、報告第5号 三沢市奨学資金貸付条例の一部改正についての報告は、終わりといたします。

次に、報告第6号 令和4年度三沢市重点事業要望について（教育関係）を議題といたします。

事務局より、説明をお願いします。

■学校教育課長

報告第6号 令和4年度三沢市重点事業要望事項についての資料の最後のページをお開きください。

「（仮称）県立イングリッシュ・ラーニングセンター」の設置についての要望事項の具体的内容は、（1）児童生徒の体験的学びや教員の研修を行うための施設「（仮称）県立イングリッシュ・ラーニングセンター」の設置。（2）事業展開するための県担当者（指導主事）を配置。（3）三沢市委嘱外国人の「英語指導助手」や「国際理解教育講師」と県担当者が連携した事業の推進。を要望事項として掲げております。

児童生徒の英語を用いたコミュニケーション能力の育成や小学校教員と中学校英語担当教員の英語力・指導力の向上が求められることから、その課題解決の一助として県内実践型研修の拠点を目指した、「（仮称）県立イングリッシュ・ラーニングセンター」の設置が必要であると考えます。三沢市では、これまで地域在住のネイティブな人材を活用した「英語教育実践プログラム」を作成・実践しながら、小中接続を意識した英語教育実践で成果を上げており、県内実践型研修の拠点として最適であると考えております。

現在までの主なる経過・参考事項としましては、平成30年度から、三沢市内小中学校における英語教育の充実を図ることを目指し、三沢市の英語教育セカンドステージの計画・取り組みの開始。令和元年度からは、小学6年生を対象にしたジュニアイングリッシュデイの新規実施、市内中学3年生を対象にした英語検定公費受験の機会拡充、三沢市版中学校英単語集の作成・配布。令和2年度からは、新学習指導要領に対応した三沢市小中学校英語教育指導計画を作成、三沢市小中学校英語教育ハンドブック作成・配布、英語検定公費受験の対象学年を中学2・3学年に拡充。そして、令和3年度からは、三沢市版小学校英単語集の作成・配布となっております。

これらを通して、（仮称）県立イングリッシュ・ラーニングセンター設置へ繋げられるよう活動しているところで、この様に要望しており

ます。

以上でございます。

■富田教育長

ただ今の報告に対し、委員の皆様から、ご質問等がございますか。

■立花委員

この重点要望に対して、県の感触としてはどうでしょうか。

■学校教育課長

これまでも、当市では継続して、センター設置の要望をしてきておりますが、県では、財政的に箱モノの建設は、なかなか困難な状況であると捉えております。三沢市には、他に、県立航空科学館も設置しており、私たちも財政的に大変であると捉え、設置が無理であれば方向転換し、ソフト面についても検討していかなければならないと考えています。

■立花委員

確かに、継続して要望していくことは、大事です。また、ある程度予想しながら、別なことに転換していくことも必要であると考えますので、よろしくをお願いします。

■富田教育長

今のご発言は、要望ということでよろしいでしょうか。

その他、ご質問等ございませんか。

(「なし。」と声あり)

ないようですので、報告第6号 令和4年度三沢市重点事業要望について(教育関係)についての報告は、終わりいたします。

■富田教育長

日程第6 その他。

続いて、その他に移ります。

委員にお知らせする事項をお手元に配付しておりますので、教育総務課からお願いします。

■教育総務課長

それでは、教育総務課から、その他の報告事項について、ご説明いたします。

令和3年度教育委員等による学校訪問の日程についてですが、令和3年6月24日から7月6日の6日間で開催中でありまして、

日程につきましては、別添の学校訪問日程表のとおりであります。

続きまして、三沢市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の制定についてですが、こちら先ほどの報告第5号 三沢市奨学資金貸付条例の一部改正についてと同様、今月21日をもって公布及び公表されているもので、内容につきましては、地方自治法の改正に伴い、市長等の市に対する損害賠償責任の一部免責に関し必要な事項を定めたもので、資料4ページの区分表に記載されている者が、職務を行うにつき、善意でかつ重大な過失がない時は、損害賠償責任額から条例で定める額を控除して得た額について免れるものであります。詳しくは、資料をご参照ください。

教育総務課からは以上でございます。

■学校教育課長

では、2ページをお開きください。学校教育課から、その他の報告事項を説明します。

まずは「わくわくサマーゼミナール」ですが、第1回は、一昨日26日に国際交流教育センターで実施しました。市内小学校の先生による理科の実験を中心とした講座、市立図書館職員による調べる学習の進め方の講座、航空科学館職員による自由研究の進め方についての講座を行い、参加した児童は、興味をもって聞いてい

○日程第6 その他

ました。第2回は、選択制で、理科的な研究に興味をもった児童は、7月26日に航空科学館で、調べる学習に興味をもった児童は、8月6日に市立図書館で研究を進めます。今年度の申込み人数は、33名で昨年度より15名増えました。後ろにパンフレットを付けておりますので、後程ご覧ください

次に、「中学生イングリッシュキャンプ」についてです。8月に3日間で、計画をしましたが、今年度も宿泊をなくし、8月3日の1日で実施することとしました。後ろから2枚目のパンフレットをご覧ください。中程に書いていますが、定員は40名とし、今年度は、感染症対策をとりながら、米軍三沢基地を訪問する予定です。裏面をお願いします。予定のプログラムは、米軍司令部見学、パイロットへのインタビューなどとし、コミュニケーション能力の向上と国際理解教育の一端を担う事業とします。

以上、学校教育課からでした。

■生涯学習課長

生涯学習課です。

市内の小学生及び中学生を対象に、家庭教育支援の一環として、「なつやすみ宿題おたすけ塾」を開催いたします。

地域の人材及び高校生ボランティアを活用し、夏休み課題のドリル、絵画、習字の作品制作をサポートいたします。今年度も感染予防対策を講じ、各回10名程度の小規模開催ですが、講師陣のご協力により複数回、開催できることとなりました。

申込受付期間は、7月1日から8日まで、応募者多数の場合は、抽選といたします。

以上でございます。

■富田教育長

その他、各課から、追加で報告事項等がありますか。

(「なし。」と声あり)

それでは、ただ今のその他の報告で、委員の皆様から、ご質問等ございますか。

■松森委員

わくわくサマーゼミナールについてですが、私の子供も参加させていただきましたが、楽しかったと目を輝かせて帰ってきました。夏休みの自由研究に向けてのきっかけとなり、他校の子供と触れ合う機会にもなったようです。このような機会を与えてくださった教育委員会の皆さんに感謝申し上げます。感想でした。

以上です。

■本江委員

中学生イングリッシュキャンプについては、コミュニケーションを図るために非常に大事な事業だと思っております。子供たちは、机の上でも一生懸命勉強していますが、外へ出て学区以外の人と話をし、遊び、買い物や食事をするなどの経験をしながら学んでいくことが大切だと思います。できるだけ多くの子供たちが参加できるようお願いします。

以上です。

■黒沢委員

なつやすみ宿題おたすけ塾は、回を重ねる毎に、改善がなされた形になっており、例えばお仕事されているご家庭で、時間内に申し込みの連絡が出来なく、遅くなってしまっても、申し込みが多数の場合は、抽選になっております。本当は、申し込まれた方全員が参加できれば良いと思いますが、講師や場所の都合で制限されるのが実情です。それでも改善されてきている事が嬉しく思います。

また、中学生イングリッシュキャンプは、今までと同様の形ですが、少し趣向を凝らして面白味があるプログラムだと思えました。三沢市は、ここ1、2年でぐんぐんと英語の基盤が厚くなってきておりますが、英語を用いたコミュ

コミュニケーション能力の向上と言っても、やはり、母国語のコミュニケーション能力が、一番根底にあった上で、広がるものだと思います。英語の部分の環境も整ってきていますので、改めて、日本の日常生活など、子供たちが安定した環境の中で、安心して会話を持てるとか、自分の発言が受け入れられる関係を今後も引続き積み重ねていただきたいと思います。

以上です。

■立花委員

なつやすみ宿題おたすけ塾は、1回だけでなく、数回実施してくれることは、非常に子供たちにとって、良い機会だと思います。最近、宿題もあまり多く出さないかと思いますが、それでも出された宿題をみて貰えるなど、おたすけ塾の中で、他校と交流ができると思いますので、数回開催で、沢山の子どもたちが参加できれば、非常に良い企画だと感じました。

以上です。

■富田教育長

その他、ご質問等ございませんか。

(「なし。」と声あり)

それでは、ないようですので、その他については、終わります。

最後に委員の皆様から委員会の事業等について、確認やご意見・ご感想等をいつもの順番でお願いします。

■松森委員

本日も色々な説明をしていただいてありがとうございました。

学校だよりの配付について、改めてお礼申し上げます。お便りを通して、各学校の意気込みや方針がみえて大変楽しく拝見させていただきました。中には最後に必ず校長先生直筆の一言コメントがあり、心温まるお便りもありまし

た。特に印象的だったのは、学校の働き方改革についての記事ですが、毎日子供の前に元気に立つために、働き方を見直すという内容のものでした。記事を読んだ保護者は、私も含めて、きっと、親としてまた地域として出来ることを見直し、学校と更に連携して活動していけるきっかけになったと思います。

先週から学校訪問に参加させていただいております。頑張っている子供たちや先生方を拝見することができ、私が元気を貰っています。そして安心安全に学校が、運営できている事は、教育委員会の皆さんが支えてくださっているからだと思い、今までとまた違った目線で見ることができました。私自身もとても勉強になっています。このような機会を与えてくださってありがとうございます。後半の学校訪問も楽しみにしております。

以上です。

■本江委員

私も学校訪問についてです。前半終わりましたが、学校の方は、整理整頓がきちんとなされていて、学校の物を大事に使っていて、建物は、古いなりに綺麗に使ってくれていると思いました。特に、今配付されたタブレットは、子供たちも使い方が慣れてきていますので、新しい物は、どんどん投入した方が良いという感じを受けました。

また、先ほどの説明にもありましたが、先生方が色々な面で研修が多いので、ちょっと休ませたいな。正直言って、「夏休みは、ちょっと休ませてあげよう」という想いがしました。過度にならないようにしていただきたいと思います。

また、昔の中学校の先生は、英語について、英会話だけでなく、それを点数にしなければならなかったため、苦勞しました。受験のために、英会話を点数にしなければなりませんでしたが、最近、良い感じになってきているようで、

それが英語教育に繋がってきています。色々な良い取り組みが、成果を上げておりますので、これからも色々な取り組みをよろしくお願ひします。

以上です。

■黒沢委員

先ほど説明していただいた、総務文教常任委員会、委員さん方が、どの様な感想や要望などを述べられていたのか、教えていただきたいと思ひます。

■教育部長

ただ今のご質問ですが、多々ありましたが、まず、ICT支援員は、今後どうするのかという事については、今年度業者委託し、支援員が各学校へ1週間に1回程度訪問できるように考えています。支援員の業務内容については、機器の初期設定や運用、管理等のサポートをしていただくということを説明いたしました。

次に、英検の受験率の関係ですが、どの程度の中学生在が、受検しているのかという質問では、学校教育課長から、過半数の生徒が受験していますという回答をしております。

次に、コミュニティ・スクールの件は、ボランティア窓口は、どこになっているのかという質問は、放課後の学習指導は、児童館となり、福祉部門となっていると回答しました。

それから、午前中にタブレットを使用した理科の授業を第一中学校に視察いたしましたので、その感想もいただいております。

■黒沢委員

私も言葉が足りなかったのですが、教育振興基本計画の体系が、しっかりなされていて、それぞれの事業に関してもその体系に基づいた資料の構成でしたので、委員の方も満足されたのではないかとと思ひ、その感想の中で、お褒めの言葉があったら嬉しいなと思ひまして、ちょ

っと質問させて貰いました。

■教育部長

委員から、もう一つありましたが、他の自治体の例を参考にしながら、今後英語検定に準じる、三沢市独自の検定を創設して、子供たちの英語力向上を図る取り組みをしてみてもどうかという意見がありました。これについては、なかなか難しいので、回答は求められませんでした。

■富田教育長

若干、補足しますが、黒沢委員がお話になったように、非常に体系的に整理された奇麗な計画であるというお話をさせていただきました。しかしながら、計画を立てるだけでなく、それを実践していくことが大事であると、お褒めの言葉が半分、頑張りという応援が半分であったと私は、受け止めておりました。

また、先生方の研修の部分も大事にしていかなければならないというお話もありました。野球の監督やコーチのように、良い指導者がいるチームは、良い選手が生まれてくるのと同じに先生たちもしっかりとしていけば、子供たちも伸びていくので、よろしくお願ひしたいというご意見もいただいております。

■立花委員

給食センターの牛乳に関係したことで、確認です。何年か前に、どこで起きた事か忘れましたが、牛乳の中毒の事件がありました。三沢市の場合、牛乳の配達方法や保管について、どのようになっているのか確認したいと思います。

■学校給食センター所長

お答えいたします。確か、関西の方で、牛乳業者から出た食中毒だったと思ひますが、青森県内の牛乳は、弘前市にある荻原乳業となっており、朝早く弘前市から、学校へ直接配達され

ます。給食センターへの配達は、センター分と検食分が配達され、検食用の牛乳は、冷蔵庫で1週間保管されます。県内は大体が同一業者のため、万が一の場合、三沢市だけでなく、県内全体に食中毒の恐れが生じます。

また、学校における検食は、校長先生が、センターの検食は、所長が給食前の11時30分頃に検食しますので、その際に何かあった場合は、止めることができます。

以上です。

■学校教育課長

給食の牛乳の納入については、各学校に荻原乳業が7時前位から7時過ぎ位に配達します。その牛乳は、温度が5度位に設定されている冷蔵庫に保管されます。給食は、子供たちが食べる40分位前に検食をしなければならないことになっております。殆どは校長先生が行い、メニューが書かれた検食日誌に記入します。おかしくなっていないか、異物等が入っていないかなどをチェックし、センターへ提出していますので、子供たちは安心した状態で食べられるようになっています。例えば、異物を発見した場合には、マニュアルを作成しておりますので、それに従って、給食センターと教育委員会、学校とで対応していくことになっております。

以上です。

■立花委員

時期的にも、食品の衛生管理には、十分に気を付けていただきたいと思います。

○閉会

■富田教育長

それでは、ここで暫時休憩をし、非公開審議のため、別室へ移動願います。

7月定例会の日程ですが、7月29日 木曜日、午後2時に開催したいと考えておりますが、いかがでしょうか。

(「異議なし。」と声あり)

それでは、ご異議ございませんので、7月定例会は、7月29日 木曜日、午後2時からといたしますので、よろしく願いいたします。

暫時休憩 15時01分

再開 15時07分

教育長室において、議案第1号 令和3年度三沢市奨学資金貸付申請者の選考についてを審議し、原案のとおり承認された。

閉会 15時23分

■会議録署名者

教育委員 本 江 宏

教育委員 松 森 まゆみ

書記 今 村 多美代